

特殊インキシリーズ 示温インキ ST カラー

STカラーは当社独自の技術により開発された、特定の温度帯で発色 消色を繰り返す可逆性の示温インキです。印刷面を触ると体温により文字が消えたり、冷えると文字が浮かび上がる等の、高い付加価値を付与することができます。

1、温度タイプ

温度タイプ	完全発色温度	完全消色温度	備考
15	11	19	冷蔵庫、コールドドリンク用
27	24	33	体温用
35	27	36	お風呂用

完全発色温度以下でインキの濃度は100%になり、加温により徐々に濃度が下がり、完全消色温度以上になると濃度は0になります。

許容誤差 : ±1

2、色数

全5色(ピンク、ブルー、ブラック)

(インキタイプにより設定していない色もありますので事前にご確認下さい。)

3、耐候性

項目	5段階評価*	コメント
耐熱性	5	120 / 30分まで異常無し(色材として)
耐光性	1	非常に弱いので印刷物の仕様決定時に検証して下さい
耐溶剤性	2	黄変、機能喪失、ブリードの恐れがあります

* 5(強)~3(普通)~1(弱)

4、インキの種類

- UVスクリーンインキ : 紙、フィルム兼用
- UVフレキソインキ : 紙、フィルム兼用
- 枚葉オフセットインキ : 紙用酸化重合型インキ
- UVオフセットインキ : 紙、フィルム兼用

5、推奨印刷条件と注意点

スクリーン印刷 : 80~150メッシュの版をご利用頂き、インキの乾燥(硬化)は充分に行って下さい

フレキソ印刷 : 80~200Lpiのアニロックスをご利用下さい

オフセット印刷 : 枚葉インキ、UVインキ共に水幅が狭いので湿し水は絞って印刷を始めて下さい

特にUVインキをご使用になる場合は、湿し水にIPAを10~15%程添加し、極限まで湿し水を絞って印刷して下さい

インキの濃度が低いいため、インキは可能な限り厚盛りにして下さい。

(盛り量の目安はPS版使用時4~5g/m²、樹脂版使用時は5~8g/m²です)

樹脂版をお使いの場合は、標準より軟らかいものをお使い下さい(例: nyroprint®WF95 ブルー)

*本資料は、弊社内において最も信頼しうるとされるデータにより検討し作成致しましたが、参考までに挙げた一例に過ぎません。需要家各位におかれましては、更にご検討の上ご利用下さい。また、上記記載の数値は弊社内規格値であって保証値ではありません。

*ご使用に際しては、貴社の使用条件に適合するか確認して下さい。

*これらの特殊インキを使ったさまざまな印刷物やノベルティグッズ等に特許出願がなされていますが、本資料の使用例、文章等は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

*取り扱い又は使用に際し、製品安全データシート(MSDS)を、必ずお読み下さい。

*製品改良の為、予告なく内容を変更することがあります。